

高性能スキンボード コンクリート押え防水工法用

# カネライトフォーム<sup>®</sup> スーパーE-BK

JIS A 9511 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bA

JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA I, II



**カネライトフォーム**は建材トップランナー制度対象製品(区分名:押出法ポリスチレンフォーム断熱材)です

建材トップランナー制度とは

経済産業省 資源エネルギー庁が、製品の性能をさらに向上させるように目標値を設定し、その達成を求める制度です。

断熱材では、押出法ポリスチレンフォーム断熱材、グラスウール断熱材、ロックウール断熱材の3種類が対象となっています。

押出法ポリスチレンフォーム断熱材の2022年度目標基準値は、熱伝導率0.03232[W/(m·K)]と定められています。

## ■ カネライトフォーム®の特長

「熱と湿気」を探究する株式会社カネカが、より快適な生活空間をつくるために自信をもって送り出した素材がカネライトフォーム®です。熱資源の有効利用と快適な居住性を実現する断熱材カネライトフォーム®は数々の優れた特性を持っています。

### 優れた断熱性能です

独立した小さな気泡の中に気体を閉じ込めることにより、熱伝導の三要素として知られる「伝導・輻射・対流」を抑えています。気体を閉じ込めた独立した気泡が熱をさえぎり、結露を抑制します。

### 吸水・吸湿性がほとんどありません

独立した気泡が、断熱の大敵である水を入りにくくし、断熱性能の劣化を防いでいます。また、両面にスキン層を有し吸水しにくい為、防水施工用途に適しています。

### 優れた圧縮特性

押出法ポリスチレンフォーム保温板/断熱材3種bの圧縮強さ20N/cm<sup>2</sup>以上を確保します。

### 優れた安全性・環境性

JIS燃焼性規格合格、発泡剤のノンフロン化/PRTR法対象物質ゼロ化を実現します。

## ■ カネライトフォーム®スーパーE-BKの一般物性

JIS A 9511 記号		XPS3bA	試験法
JIS A 9521 記号		XPS3bA I・XPS3bA II	
項目	単位	スーパーE-BK	
密度	kg/m <sup>3</sup>	25以上	JIS A 9511 JIS A 9521
熱伝導率	W/(m・K)	0.028以下	
圧縮強さ	N/cm <sup>2</sup>	20以上	
曲げ強さ	N/cm <sup>2</sup>	25以上	
吸水量	g/100cm <sup>2</sup>	0.01以下	
透湿係数	ng/(m <sup>2</sup> ・s・Pa)	55以下	
燃焼性	—	合格	
ホルムアルデヒド放散区分	等級	F☆☆☆☆	

※燃焼性の規格は「3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない」ことです。

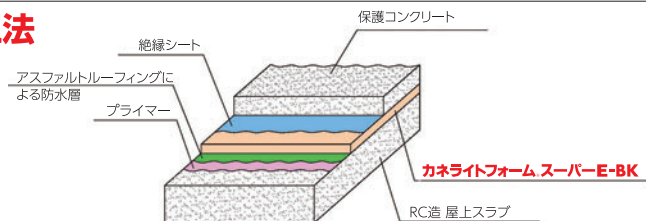
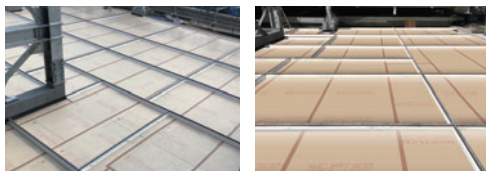
## ■ カネライトフォーム®スーパーE-BKの規格

単位	厚さ	幅	長さ
mm	25・30・35・40・50・60	910	910

※規格の詳細、在庫につきましては、営業所へお問い合わせください。  
※75mmは特注品になりますので、販売所にて相談ください。

## ■ アスファルト防水 仕様例 屋根保護防水断熱工法

(USD工法)



## ■ カネライトフォーム®取扱上の注意事項

### ■ 火気注意

火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。また、発泡剤として可燃性ガスを使用しています。発泡剤は発泡成形後も製品内に一部残留し、徐々に逸散しますが、発泡剤は空気よりも重く、溝やピットなど掘り下げたところや閉鎖的な空間に滞留しやすい性質を持っています。発泡剤の濃度が爆発下限界を超えた状態で火源に接した場合、燃焼する可能性が高くなります。従って輸送・保管・施工に際しては、火気と換気に十分注意してください。特に付近で溶接、溶断といった火気を使用する際は、火花等があたらないよう確実に養生するとともに適切に換気してください。

### ■ 紫外線注意

直射日光に長時間(2~3日以上)さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良、厚み減少等の原因になりますので、保管にあたっては養生シートで覆い施工後は仕上げを速やかにおこなってください。

### ■ 有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択又、木造住宅の防蟻・防蟻薬剤の選定及び、使用方法についても事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。溶剤を使って作業する場合は十分換気し、火気を使用しないでください。

### ■ 割れ踏み抜き注意

局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。根太やたる木の上を歩いてください。

注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。カネライトフォーム®は主として断熱材として使われることを想定しています。それ以外の使用については、お問い合わせください。

※カネライトフォーム®は株式会社カネカの登録商標です。

### 製造

株式会社 **カネカ** Foam & Residential Techs Solutions Vehicle  
東京本社 東京都港区赤坂1-12-32 (アーク森ビル) 〒107-6028

### 販売 (問い合わせ先)

**カネカケンテック株式会社** 住環境事業部

■ ホームページアドレス <http://www.2kenzai.kaneka.co.jp>

### 東日本営業部

- 東日本販売課 東京都千代田区内幸町1-3-3 〒100-0011 TEL.03 (3596) 7011
- 北海道営業所 北海道札幌市中央区北2条西3-1-20 〒060-0002 TEL.011 (222) 5231
- 東北営業所 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 〒980-0811 TEL.022 (722) 2901
- 新潟営業所 新潟県新潟市中央区東大通1-3-10 〒950-0087 TEL.025 (248) 3860

### 西日本営業部

- 西日本販売課 大阪府大阪市中央区道修町4-4-10 〒541-0045 TEL.06 (6205) 3621
- 名古屋営業所 愛知県名古屋市東区武平町5-1 〒461-0008 TEL.052 (959) 3251
- 九州営業所 福岡県福岡市博多区祇園町1-40 〒812-0038 TEL.092 (281) 1511

### カネライトフォーム®のご用途は



このパンフレットは、環境にやさしい大豆油インクで印刷しています。